

むて ごぞいます

謹んで新年のごあいさつを申し上げます。
昨年は、全国的に見ますと暗い事件の多い年でした。しかし、大館にとっては、命運をかけた大きな事業が目に見える形で進展した年でもありました。

本年は、昨年引き続き五大プロジェクト、三大対策をより進展させていかなければならない年であると考えています。これらに加え、本年は日本海沿岸東北自動車道の整備、特に秋田県北部の早期整備にめどをつけなければならぬと考えています。また、長年の懸案事項でありました「長木ダム」の建設がいよいよ動きだす年でもあります。これらの事業についても大きなプロジェクトと位置付け、今までの五つのプロジェクトに加え、七大プロジェクトとしていく所存であります。

また、昨年市民保養所として新装オープンした矢立ハイツにつきましては、皆様の施設として昨年にも増して利用していただけるよう努力しなければならぬと思っています。



市長 小畑 元

そして、「道の駅やたて峠」も三月ごろオープンすることとなりました。こちらも大館市の発展に寄与するものであると思います。

四月には釈迦内獅子ヶ森の旧東高校を利用して大館郷土博物館がオープンします。また、長走風穴高山植物群落と芝谷地湿原植物群落の整備、いわゆるエコミュージアム構想が本格的に動き出すことになっています。

秋田桂城短期大学も開学。本年は学生が百九十人入学し、そのうえ大学関係者を含めますと相当数の人たちが新たに大館市に住むものと思われれます。これによる大館市への経済効果は大きく、地域活性化という面からも街が一変するとともに、若い人たちがたくさんいる明るい街となることに期待しているところであります。

二十一世紀を見据え、「元氣のぞるまち・大館」「北東北の中核都市・大館」を目指して、本年も全力を傾注してまいりますので、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

